

不二健育会 特別養護老人ホーム ケアポート板橋

黒羽 絵里(職種/作業療法士 /所属部署 看護)

功 績 重度虚血肢にて右下腿切断まで至ったご利用者。
拘縮進行し座位姿勢保持も難しく、臀部創傷がなかなか改善しないことから、除圧マット検討したが、コスト面の負担に問題あり。そこで、今までの経験から除圧マットを低コストで自作する。

ご利用者の安心・安全に配慮、ご家族に対しても経済的負担軽減となる専門職の知恵と工夫を活かした対応を行った功績。

推 薦 者 新堀成江(看護)

推 薦 理 由 黒羽は日頃の関わりから、ご利用者の様子・状態に合わせてリハビリテーション・福祉用具等の選定をし、ご利用者の安心・安全を第一に考え、熱心に取り組んでくれています。

今回、今までの経験を活かし、ご利用者の状態から個別性を考え、またご家族の背景まで考慮し、低コストで自作の除圧マットを作成してくれました。

専門職の視点から、ご利用者ファースト、ご家族ファーストで対応した行動に対し、理事長賞に推薦させていただきます。

内 容

R4年6月より右下腿、右第4足趾の難治性潰瘍で治療。糖尿病と末梢冷感があるため下肢虚血にて、定期的受診をしていたご利用者です。

重度虚血肢からの感染、ガス壊疽との診断にて、右下腿切断術する結果となりました。

退院前の状態は、廃用症候群(食事摂取不良)にて、経管栄養からの離脱が困難とのことでありましたが、病院・ご家族と話し、慣れ親しんだ施設で経口摂取を試みたいとのご家族希望にて、施設に戻ることとなりました。

退院後、拘縮進行もあり座位保持も厳しい状態でしたが、離床の促しや声掛けにて、何とか経口摂取が徐々に進んでいった最中、臀部に創傷ができ、なかなか改善せず、離床時間も短くなってしまいます。

黒羽は生活のリズムを因るため、離床を促すための再評価実施。除圧マットが適合とのことでしたが、コスト面での負担が4万円台と大きかった為、これまでの経験から除圧マットを低コストで自作することに取り掛かってくれました。作成に掛かった費用は1,000円。結果、自作除圧マットを使用し、フロア職員が同じように対応できるようシーティングも指導。介護職員・看護職員も連携し、処置を継続。姿勢も良好になったため、食事摂取量も増え、臀部創傷もついに改善することができました。その後も再発することなく経過しており、ご本人が笑顔になる頻度が、各段に増えました。